

## FD-70型 説明書



FD-70型センサーはパチスロ機の前面扉(ドア)の開閉状態を検知するセンサーです。本センサーをナンバーランプや自動追尾式監視カメラ、或は管理用モニター等と接続することにより、ドアの閉め忘れや営業中の遊技機の点検、不正目的によるドアの開放など、営業上トラブルの原因となりやすい遊技機前面扉の開閉を素早く確認することができます。

FD-70型センサーは赤外線反射式の光電センサーですが駆動するための電源配線は不用で、取り扱いや取り付けが非常に簡単です。

新潟県三条市石上1-6-5  
**三栄実業株式会社**

TEL 0256-33-1590  
FAX 0256-33-1957

FD-70型センサーは遊技機(パチスロ機)の前面扉を開放すると、それを感知して接続されたナンバーランプや監視カメラに信号を送り、遊技機前面扉の閉め忘れや不正行為による扉の開放などの異常を告知します。

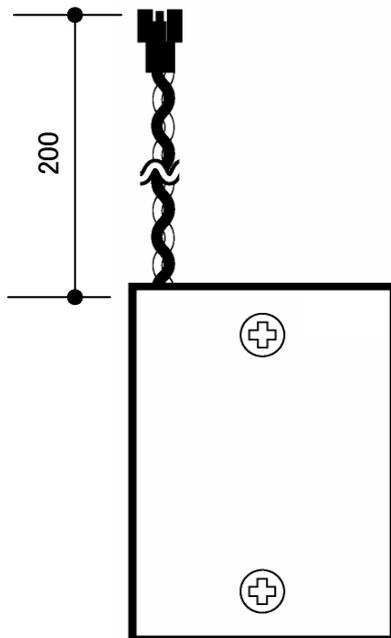
赤外線を受・発光部を設けた本器を遊技機本体側に両面テープ等で取り付け前面扉に照射した赤外線の反射により開閉状態を確認します。

本器の正面に設置されている調整用VRにより扉の開閉位置検出が簡単に調整でき駆動電源は不用で、電源配線は必要ありません。

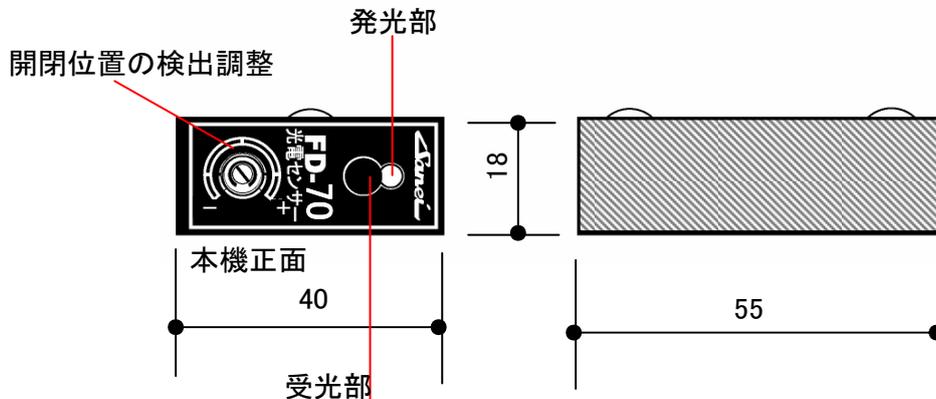
扉が閉状態でOFF、開状態でON出力を行ないます。

## 1. FD-70 仕様

信号出力線(コネクタ)



制御電圧	DC 4.5V~35V
制御電流	300 $\mu$ A~30mA
待機電流	5V時 20 $\mu$ A
	35V時 //
飽和電圧	300 $\mu$ A時 0.9V
	30mA時 1.6V以下
信号出力線	200mm(コネクタ-SMR2P)
本体外寸	H40×W18×D55 mm
使用温度範囲	0~55°C
感知距離	黒つや消し時 約75mm
感知距離	白つや消し時 約150mm



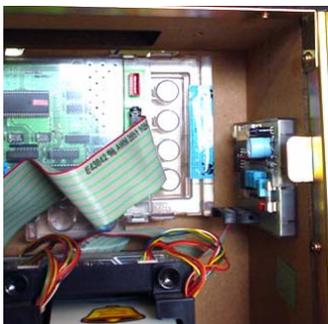
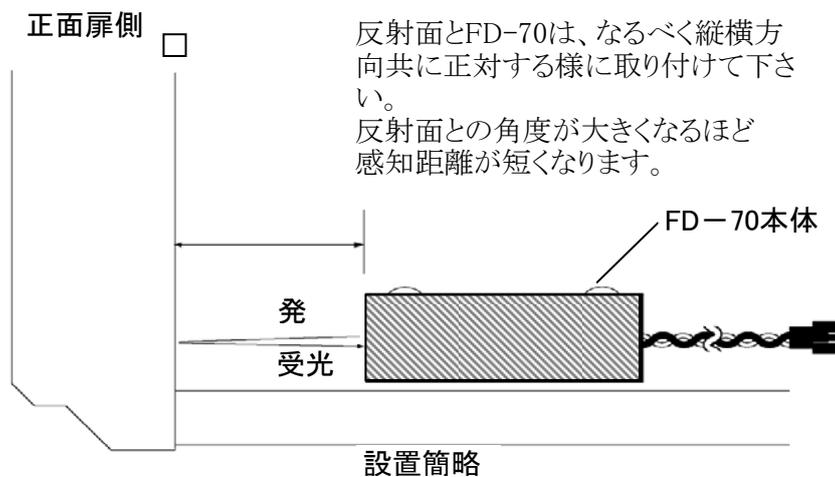
## 2. 取り付け方法概略

NO.3

取り付ける部分のごみを取り、FD-70本体を筐体に両面テープ等で固定し、信号出力コネクタをナンバーランプやモニター等の監視機器のドア入力に接続してください。

遊技機の扉側を反射面とする為に、扉を閉めたときに本器の赤外線受・発光部と正対する遊技機本体側の適所に、本機を両面テープで固着します。反射のしやすさは、扉側の材質 表面粗さによっても条件が異なります。

本器の赤外線受発光部と、パチスロ機扉の反射面を3cmから4cm以上はなして取り付けると位置検出の調整がやり易くなります。



設置前



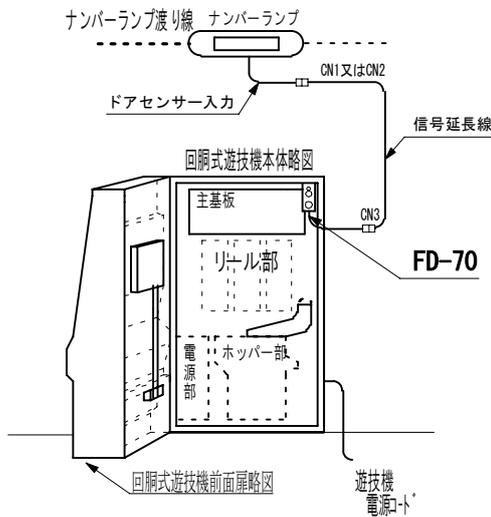
設置後例

取り付けは、図のように本体正面と正面扉(反射面)を水平になる様に取り付けます。反射面と角度が生じると、思うように距離がとれず距離調整のボリュームでも設定し難くなる事があります。

正面扉側を反射面としますが、機種により反射し難い形状の場合等は 反射させたい部分に白紙などを貼り付け反射条件を良くします。

遊技機の扉を閉めた状態から、どの程度開いた場合に反応するかは感度の調整により設定しますが、同じ筐体でもメッキ 塗装の状態でも多少異なりますので 取り付け後の検査調整を充分に行なって下さい。

## 取り付け略図



電源配線は必要ありません。

信号延長線は既存品が使用できます。

### 3. 動作テスト(設置時調整法)

取り付けと配線の接続を終了後、遊技機前面扉の開閉を行い  
ナンバーランプや接続された機器に指定された通りの信号が出力される事を  
確認します。

ボリュームの調整により、開閉距離の調整を行ないます  
扉までの距離を短くしたい場合は(-)側、距離を延ばしたい場合は(+)方向に回します

### 4. 取り扱い上の注意

赤外線を受・発光部は指向性が高いため変形したり汚れると動作不能になります。  
本器の出力信号には極性があり、逆になると扉が開状態の動作します。  
本器の赤外線受発光部の正面に外来の自然光や白熱電球光等の強い光を受けると誤動作することがあります。  
FD-70型センサーは遊技機前面扉の開閉を確認する一助とするもので、不正行為による被害を補償するものではありません。  
日常の店内管理及び防犯管理には怠りの無い様十分ご注意ください。